

「東光鉄工株式会社」への協調融資について

～洋上風力発電所の荷役向けダビットクレーン等の製造工場建設を支援～

株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔）は、株式会社日本政策金融公庫秋田支店中小企業事業および株式会社北都銀行（頭取 伊藤 新）とともに、東光鉄工株式会社（代表取締役 菅原 訪順）に対して、洋上風力発電所の荷役向けダビットクレーン等の製造工場建設にかかる協調融資を行いましたのでお知らせいたします。

秋田県を起点としたダビットクレーンの開発・製品化により、国内におけるサプライチェーンの構築と洋上風力発電事業における構成品の国内調達率底上げを目指すものです。

当行は、今後も県内の金融機関と相互に連携し地域経済の活性化促進に努めるとともに、洋上風力発電関連産業への参入に取り組むお客さまの支援を通じて洋上風力関連産業の地域定着化を進めてまいります。

記

1 融資先の概要

企業名	東光鉄工株式会社
代表取締役	菅原 訪順
所在地	大館市積迦内字稲荷山下19-1
資本金	85百万円
事業内容	当社は、鉄鋼加工を主力として機械、建築土木、IT分野ほか4社15事業を展開する東光グループの中核企業です。自社ブランドの「TOKOドーム」は、南極昭和基地のヘリ格納庫や防災シェルターとして多くの採用実績を有しています。

2 投資計画の概要

今回の計画は、大館市にある本宮工場敷地内にインフラ鉄工事業部の第二工場を新築し、溶接機械や天井クレーン等を導入するもので、2024年11月に竣工いたしました。岐阜県の機器メーカーと共同開発したダビットクレーンの生産体制を構築し、秋田県沖等の一般海域で計画されている洋上風力発電所向けに国産ダビットクレーンの安定供給を行っていく方針です。

施設内容	ダビットクレーン等製造工場
所在地	大館市本宮字上ハ野8ほか
総事業費	約8億円

(以上)

8 働きがいも
経済成長も17 パートナリシップで
目標を達成しよう

SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題17目標と目標を達成するための169のターゲットが示されています。